

2

市民・事業者・市の三者による協働の原則

環境基本計画を着実に進めていくためには、市民・事業者・市の三者が、それぞれの立場で、それぞれの役割を果たしつつ、協働していくことが必要です。

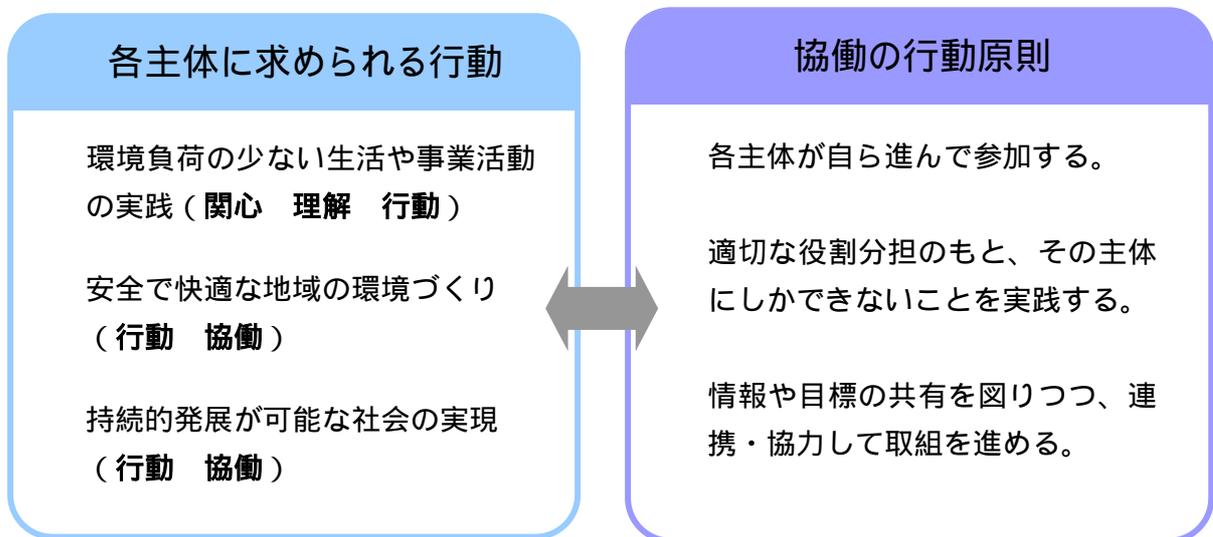
各主体の役割と環境基本計画推進に当たっての協働の原則及びこれに基づく三者による推進体制についてまとめました。

(1) 各主体に求められる行動と協働のあり方

あきる野市の望ましい環境像の実現に向けて、まずは、それぞれの主体が役割を理解し、何ができるかを考え、環境負荷の少ない生活や事業活動を実践していくことが不可欠です。

その上で、安全で快適な地域の環境づくりや、環境・経済・社会が好循環を生み出す持続的発展が可能な社会の実現に向けて、行動から協働へと発展させていくことが必要です。

また、協働に当たっては、各主体が自ら進んで参加し、適切な役割分担のもとで、その主体にしかできないことを実践し、情報や目標の共有を図りつつ、連携・協力して取り組むことが必要です。



(2) 協働による計画推進の体制

市民・事業者・市の三者の協働による取組を進めていくために、平成19年度を目標に、三者の協働組織である「(仮)あきる野市環境委員会」(以下「(仮)環境委員会」といいます。)を設置します。本委員会は、「あきる野市環境審議会*」(以下「環境審議会」といいます。)や市と連携・調整しながら、各主体の意見交換や情報交換、協働による取組などを企画・推進していきます。

環境審議会は、市長の諮問機関であり、市長の諮問に応じて、必要な審議及び答申を行います。一方、(仮)環境委員会は、多様な主体が協働して、環境基本計画の推進及び進捗状況の点検評価も行います。また、必要に応じて、本委員会の下部組織として、具体的な取組を担う実行部門を設置します。

さらに、(仮)環境委員会の委員が中心となって、各主体が持つ情報を交換・共有したり、それぞれの活動を報告・発表できる場づくりや、企画段階から様々な主体が参加した取組を進めていくことで、基盤づくりを進めていきます。

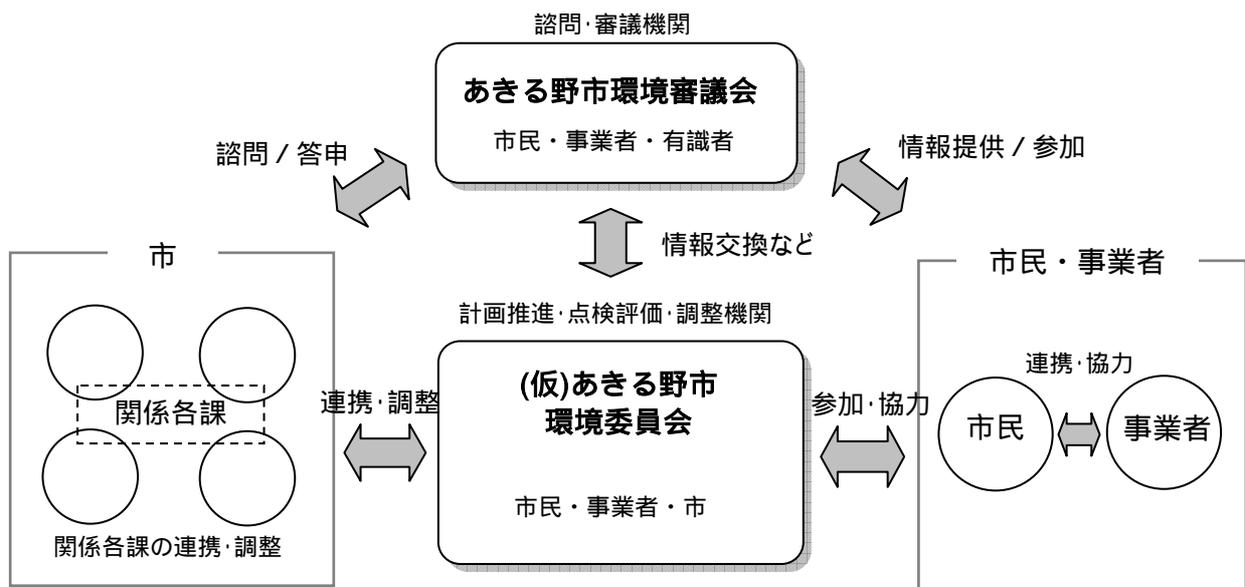


図 環境基本計画の推進体制

3

三者協働による進行管理と確実な目標達成

計画の着実な推進や計画的な目標達成を図っていくためには、市民・事業者・市の三者の協働による進行管理が必要となります。そこで、下図に示すようなPDCA サイクル*に沿って、それぞれが様々な取組を進めていきます。

市では、既に行政評価や ISO14001 に基づき、施策や率先行動の点検・評価を進めています。環境基本計画の進捗状況についても、これらの既存のシステムと連動させながら効率的に点検・評価を進めていきます。

また、計画の推進、目標の達成には、市による施策の推進だけでなく、一人ひとりの行動や、協働による取組の推進も不可欠です。そこで、一人ひとりが、自分たちの行動を自己チェックするとともに、計画全体の点検・評価にも参画できる仕組みづくりを進めていきます。

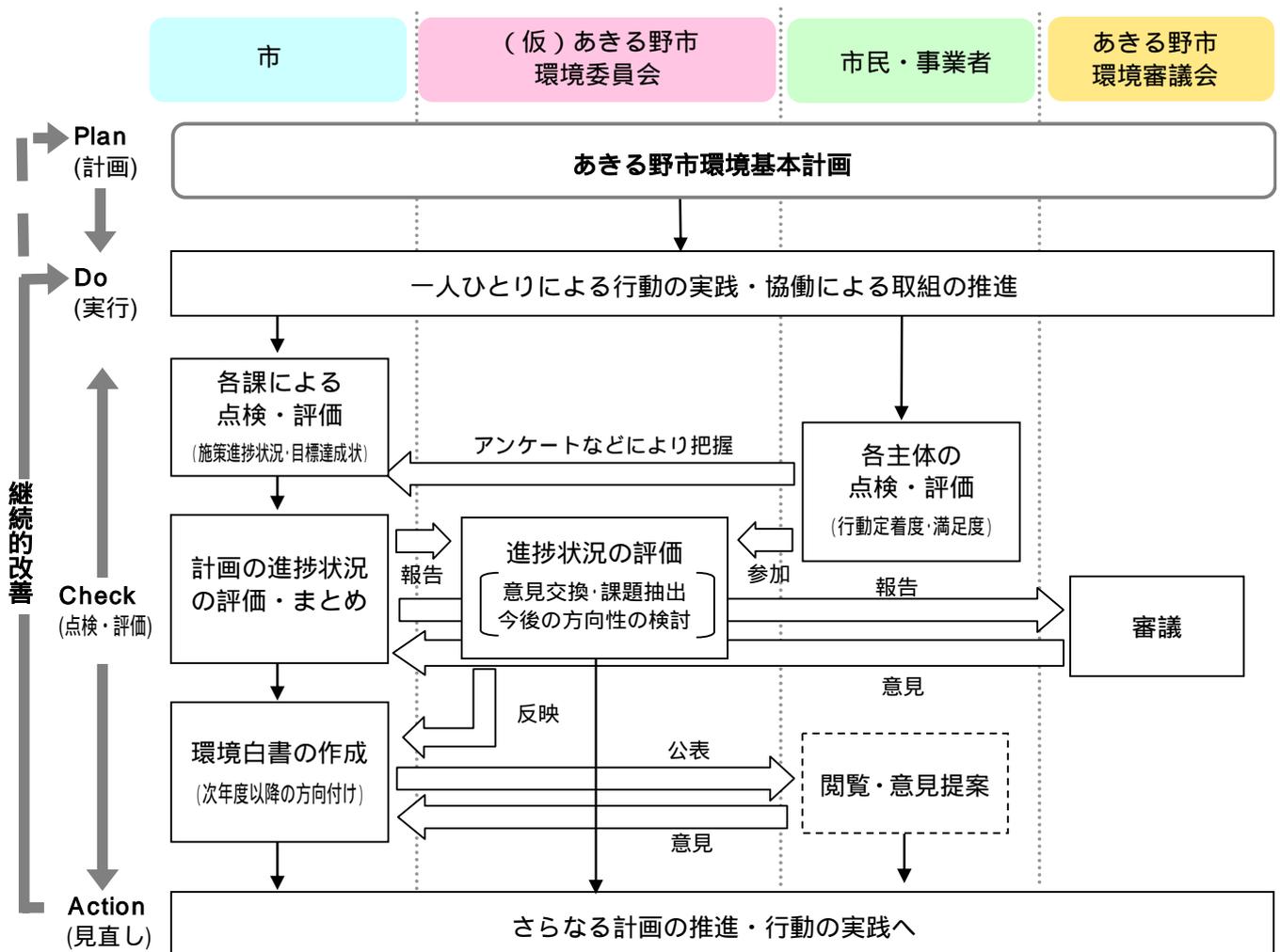


図 環境基本計画の進行管理の流れと役割

指標・目標一覧

第3章及び第4章で示した指標・目標を、環境・経済・社会の3つの視点で分類し、一覧としました。

計画の進捗状況や目標状況を測るため、毎年、この指標の値がどう変化したか、数値目標を定めた項目は、どのくらい目標達成に近づいているかなどを点検・評価します。

指標・目標については、目標達成状況や社会情勢の変化等に応じて、適宜、見直しを行っていくものとします。

分類	分野	指標・目標項目	掲載頁	
環境	自然	・緑地保全などに関する実態の報告	P.20	
		・里の川としての景観ポイント	P.23	
		・モデル地区の選定数 ・市内の緑地面積	P.68	
	生活	・環境基準の達成率 ・市民一人一日当たりのごみ排出量 ・ごみの資源化率	P.33	
		・市内の緑被率	P.40	
		・不法投棄件数	P.43	
		・河川ごとの水質に関する環境基準達成率 ・市民一人一日当たりのごみ排出量（再掲） ・ホテルが見られる水辺の箇所数	P.71	
		・生産緑地指定面積	P.73	
		・「へらすぞう」の発行回数 ・市民一人一日当たりごみ排出量（再掲）	P.74	
		エネルギー	・CO ₂ 排出量（市民一人当たりの排出量） ・エネルギー使用量（市民一人当たりの使用量）	P.49
			・市内の森林・緑地面積 ・グリーンリサイクル（落葉・剪定枝）量、CO ₂ 排出削減量	P.56
	・市からのCO ₂ 排出削減量（市民一人当たりの排出量） ・バイオマスの利用によるCO ₂ 排出削減量		P.77	
	・温浴施設でのバイオマス利用量、CO ₂ 排出削減量		P.81	
	人		・「あきる野市環境白書」の作成・公表	P.61

分類	分野	指標・目標項目	掲載頁
経済	生活	・あきる野産の農産物の販売額	P.71
		・市民一人当たり年間ごみ処理負担費	P.74
		・農産物直売所数 ・あきる野産の農産物（あきる野ブランド）等の数 ・地元野菜の活用件数	P.73
	エネルギー	・間伐材等の利用状況、林業従業者数	P.56
		・バイオマス年間利用量、発電量 ・温浴施設の見学者数	P.81
社会	自然	・新たな緑地保全制度、連携体制の確立 ・ボランティア登録人数 ・自然環境に対する市民満足度	P.20
		・「美林の里」整備面積、モデル地区数 ・ボランティア登録人数（再掲）	P.23
		・自然環境調査の検討・実施 ・「あきる野百景」の認知度 ・あきる野版 RD 種の認知度	P.68
	生活	・「身近な自然を生かしたまち」の市民満足度	P.40
		・街並みの美しさに関する満足度	P.43
		・市民や来訪者の「歩きたくなる」度 ・「清流」に対する市民満足度 ・生活排水処理率 ・下水道接続率	P.71
		・ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数 ・川とのふれあいマナー実践度	
		・街並み・景観に関する市民満足度 ・土地区画整理事業による街並み整備箇所数 ・「歩きたくなる」みちの箇所数 ・市民や来訪者の「歩きたくなる」度（再掲） ・たばこ・ごみのポイ捨てに係る市民満足度 ・一斉清掃の実施回数、参加者数	P.75

分類	分野	指標・目標項目	掲載頁
社会	エネルギー	・住宅用太陽光発電導入累計件数（NEF 補助分） ・新エネルギー導入件数、導入量	P.53
		・省エネ生活 10 か条の認知度、定着状況 ・地球温暖化に関する環境教育実施校数 ・家庭での電力使用量 ・環境家計簿等の普及状況、モニター登録者数 ・エコドライブ実践状況	P.77
		・バイオマスに関わる環境教育・イベント等の開催件数、参加者数	P.81
	人	・環境関連講座の実施件数、参加人数 ・環境教育・環境学習の場の箇所数 ・人材登録・活用制度の確立 ・協働事業の実施件数	P.61